

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年12月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670700535
法人名	有限会社 マエダ
事業所名	グループホーム ねせぶ
所在地	鹿児島県奄美市名瀬根瀬部242番地1 (電話) 0997-55-6650
自己評価作成日	平成27年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年12月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームねせぶは根瀬部集落にある。根瀬部集落は奄美市と大和村の境界に位置し、自然に囲まれ、海岸まですぐ近くである。集落は畑や小川があり、近くの家から機織りの音が聞こえる長閑な集落である。車の交通量も少ないので、入居者も安心して散歩や散策が楽しめる。グループホームねせぶは、そうした集落の方々が行う集落行事や地域活動に積極的に参加しながら地域との交流を大切にしている。また、近くの小学校・保育所とも連絡を取り合い、お遊戯会への参加やグループホームへの訪問なども行っている。こうした地域との連携が災害時に入居者の安全確保に繋がると考え、特に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは誕生会の時等にボランティアの方が歌や踊りを披露したり演奏会を行ったりして利用者から喜ばれている。
- ・利用者の家族が付き添いで医療機関の受診ができる様に事業所の車を提供しており、利用者や家族から喜ばれている。
- ・園庭に咲いている花を眺めて喜んでいる利用者の思いに寄り添い、居室の窓に花の苗鉢を設置し花の育成を楽しんでもらっている。
- ・新規採用の職員に1ヶ月間、先輩職員が付き添って利用者のケア提供方法などを一緒に行い、安心して仕事に取り組める様なシステムを取っている。
- ・看護師や介護福祉士等の資格保有者が多く、管理者は職員の資格取得に対して積極的にアドバイスを行っており、資格取得する事で処遇面も考慮している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>昔から奄美は結いの心を大切にし、生活してきた。開設当初から地域との繋がりを事業所の理念としている。</p>	<p>理念を朝の申し送りの前に唱和している。地域や事業所の状況の変化で見直しをした時もあったが理念の重要性を改めて認識している。理念である家族と地域の絆を大切にする事、お互いに尊重し合う事を職員全員で共有し実践に活かしている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>集落の敬老会等、地域の行事には積極的に参加し、入居者が地域と繋がりながら暮らせるよう配慮している。</p>	<p>地域内外の小中学校の職場体験学習の受け入れや公民館での健康体操の取り組み・敬老会等の地域行事への参加・近所の方が健康面の相談に来られる等、地域の一員として日常的に交流している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>機会がある時に、集落老人会の会合や小学校で、認知症の理解や支援の話をさせてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回行われる運営推進会議には、家族の方や地域の方が出席している。そこで出た意見は職員会議やケア会議で報告し、日々のケアに活かせるよう努めている。</p>	<p>会議は2ヶ月に1回定期的に開催し、事業所の状況や外部評価結果等を報告している。参加者から「地域の公民館を利用して健康教室や認知症カフェを開催して欲しい」との要望を受け、家族の協力も得ながら出された意見や提案をサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市町村担当者とは、必要時に、電話やメールで連絡を取り合っている。</p>	<p>市担当者とは日頃から電話やメール等で事業所の取り組みや利用者の状況を報告している。解らない事は足を運んで相談している。ホーム便りも届けている。市担当者は運営推進会議に参加して情報提供や問題解決に向けて事業所と一緒に取り組む等、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設内での勉強会で、身体拘束をしないケアを学び、日々のケアに繋げるよう取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束の研修を年間計画に取り組んでいる。新人職員の研修にも入れ込んでいる。毎月のケア会議や臨時会議など状況に応じて言葉での拘束の事等も勉強している。夜間帯の転倒防止として布団や靴に鈴を付ける等の工夫も行っている。日中の玄関の施錠を行わず、職員の連携で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	施設内での勉強会で、虐待防止を学び、日々の虐待防止に繋げるよう取り組んでいる。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	後見人制度の研修会へ参加する等権利擁護に関する理解を深め、入居者が必要な時は関係機関と連携し、対応している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	利用開始・終了に際しては、ご利用者・家族と十分話し合い、不安や心配がないように努めている		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	苦情・相談責任者を決め、ご利用者・ご家族の意見や要望に対応している。また、集落区長に第三者委員になってもらい、施設職員以外にも苦情・意見が表せるよう配慮している。	利用者からは日常的にいろいろな場面で思いを聴いている。家族からは面会時や個別的に差し入れ等の時に意見や要望を聞き、居室の日光の入り具合や室内の衣類タンスの整理などの意見があり、事業所として速やかに対応し、運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に職員会議を行い、その中で管理者は、職員からの運営に関する意見・提案をきく機会を設けている。</p>	<p>2ヶ月に1回の職員会議やケア会議の中で誕生会の開催時間の変更や食事摂取が困難な利用者への改善策などの利用者への支援に対しての提案があり、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の能力や実績に応じて、やりがいのある役割、給与水準になるよう配慮している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内での勉強会や、医療・福祉の関係機関が主催する研修に参加する機会を設け、働きながらスキルアップに繋がるよう配慮している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大島地区グループホーム連絡協議会が主催する勉強会や研修会へ参加する機会を設け、施設間・職員間で情報交換できるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前、生活している場に出向き本人との面談の回数を多く持つようしている。また、入居後も関係者から情報を収集するよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談を受ける段階で細かな点に配慮し、家族からの困り事や不安を安心して話せるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況把握を見極める為に関係機関と連携しご利用者のその時に合った支援に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者を人生の大先輩として尊重しつつ、心から喜怒哀楽を共感し、お話を傾聴すると共に古き奄美の風習（料理等）を教えてもらいながら日々関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の負担を配慮しながら協力できる部分はお願ひし、気持ちを共有して共にご利用者を支えていけるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の希望がある時は、ご家族の協力を得ながら馴染みの方々・場所に行ったりしている。	家族と一緒に墓参りや馴染みの店への買い物・理美容室へ出かけたり、友人の面会や家族との電話で会話が楽しめる様取り次ぎしたり、海に連れて行ったりしている。馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合うご利用者同士が対話しやすいように席替えを行ったり皆で出来るレクレーション等でお互いの事を知るきっかけを作り孤立しないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後も必要に応じて連絡をとり、その後の生活が安心して出来るよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者お一人お一人の話を傾聴し、思いを引き出すよう心がけている。困難な場合は、ご家族を含めてその思いを更に掘りさげ検討している。	利用者の日々の行動や様子から思いや意向を把握し、家族から情報を得て記録に残し、職員全員で話し合っている。意思疎通ができない時は、家族や親族から話を聞き、本人中心に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族・関係者からの情報収集に努め、その情報を日々のケアに繋げるよう心がけている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの中で出来る事探しを行い、心身状態の観察等から全体的な現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者・ご家族等の意見、入居前のプランも参考にしながら介護計画をたて、定期的にケア会議を行い、ご利用者に合わせた介護計画の作成に努めている。	利用者や家族との日頃の関わりの中で思いや意見・要望などを聞き介護計画を作成している。モニタリングは1ヶ月に1回行っており、身体や心身状況に応じて臨機応変に対応している。家族が訪問診療に合わせての面会の時に食事に関連した意見等があり介護計画にも入れ込んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアサービス記録や一日のチェック表を利用して、日々の様子を観察し、職員同士でわかりやすく情報が共有出来るよう工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況・状態に応じてご家族・関係機関と協議しながら対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員・警察・消防・各機関と必要に応じて連絡が取れるように連携している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後もそれまでのかかりつけ医への受診を基本としている。また、本人・家族が希望すれば、訪問診療が出来るよう支援している。	利用者や家族の希望するかかりつけ医で受診ができる様支援している。身体的に通院が無理な利用者には本人・家族が納得のもと、協力医の往診も受けられるように支援している。受診後の結果や薬が変わった時は報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームの看護師と診療ノートで情報交換し、ご利用者の状況把握に努め、必要時は、主治医に連絡し、すぐ医療が受けられるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にご利用者の混乱・ダメージが最小限になるよう病院と情報交換を行い、必要時には病院でのカンファレンスを行うなど、早期の退院に向けて連携し、対応している。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化に関わる指針を説明し、終末期のあり方について家族と話し合い、必要時は医療機関と連携をとり方針を共有している。	重度化した場合や終末期については家族と早い段階で話し合っており、家族の協力のもと終末期ケアに取り組んでいる。看取りケアの事例がある。職員のチームワークで、家族や医療関係者との連携を図りながら方針を共有し支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生や急変に備えて緊急連絡網にそって連絡等を行っている。また応急処置マニュアルを作成し、いつでも応急処置が出来るように対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の協力を得ながら、昼夜問わず避難出来る様定期的に訓練を行っている。</p>	<p>年2回災害避難訓練を昼夜想定で利用者と職員で実施している。津波災害の時の避難方法もある。地域の協力体制もできている。災害発生時の備蓄として食料・飲料水・オムツ・毛布等、全て用意している。台風時の発電機もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご利用者お一人お一人を尊重し、誇りを損ねない対応、わかりやすい言葉かけを心がけている。記録については契約時の個人情報の規約に基づき保護に努めている。</p>	<p>利用者のプライバシーの確保についての研修を年1回行っている。利用者への言葉かけで気づいた時は即注意している。人前でのトイレ誘導や失禁時の対応は利用者の尊厳を損ねないよう言葉かけに工夫して対応しており、職員同志でも注意し合っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご利用者が自分の気持ちを話せるような雰囲気づくり・介護者が先回りして答えを出さない等を心がけ、ご利用者が自己決定出来るような場面を作るよう努めている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>お一人お一人の状態や体調に合わせて、ご利用者の希望に沿った支援が出来るように努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>美容師の方にカットをお願いしたり、朝の洗顔時に鏡を見てもらい身だしなみを整え、一日気持ちよく過ごしてもらえるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の野菜を使った食べ方を教えてもらったり、野菜を切ったり、むいたり等の食事の準備を手伝ってもらったりして食事が楽しくなるよう支援している。	利用者個々の力を活かして野菜のつくろいや味見・お盆拭き等を職員と一緒に楽しく行っている。プランターにネギ等の野菜を植え、水を掛けたり摘んで味噌汁等に入れている。近くの大浜海岸に出かけ食事を楽しむ等の支援も行っている。家族と一緒に外出して外食する楽しみも支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を作成し、食事量・水分量の把握に努めている。また、食事量に応じて栄養補助食品等を摂取して頂きながら健康維持に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食時・入床前声かけを行い、口腔内を確認し、必要であれば歯科への相談を行う等、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご利用者のペースに合わせながら、定期的に誘導したり、トイレに行きたい合図を見逃さず、本人の意思も尊重しながら自立に努めている。	排泄チェック表からトイレに誘導し、排泄の自立支援に向けた支援を行っている。終末ケアの利用者もリハビリパンツに尿取りパットでトイレ誘導している。尿意のある利用者の夜間排泄は布団や柵に鈴を付けるなどの工夫でトイレでの排泄を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、十分な水分補給とラジオ体操等の運動を心がけ、排便の状態・有無は必ず記載している。便秘気味のご利用者には牛乳や薬等で調整している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴を定期的に行い、清潔に努めている。また、ご利用者の希望時は、その都度入浴出来るように心がけている。	入浴は週2回を基本に決めているが、入浴日以外にも希望があればその都度応じている。好みのシャンプーを使っている。夏場はシャワー浴も楽しめる様支援している。入浴拒否の利用者には職員を変えたり、言葉かけを工夫したりして、個々に応じた支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの状態に合わせた適度な運動を心がけ、扇風機や湯たんぽ等使用して安心して気持ち良く入眠出来る様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬に関しては、職員二人で確認し、服薬して頂いている。また、薬の変更がある場合には、必ず確認し、薬剤情報がいつでも確認出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎朝、両ユニットの合同レクの参加・行事の準備・洗濯物たたみ等を通じて日々の生活に楽しみが持てるよう配慮している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	その日の天候に合わせて、散歩や夕涼み等外出する機会を作り、施設内だけで過ごさないよう配慮している。またご家族に協力を得ながら遠出する機会を作り、支援をしている。	日常的には事業所玄関の出入り口で体操したり、集落内を散歩して戸外の空気を楽しめる様支援している。又、年6回遠出して花見を楽しんだり、無人販売の野菜を買う楽しみ等も支援している。家族に声を掛けて家族との外出も楽しめるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の了承の下、ある程度の金銭を希望される方には所持して頂き、買物・支払いが出来るように努めている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族に電話や手紙等のやり取りの了承を得てご利用者が希望される時は、その都度要望に沿えるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓・居室窓からの光が強くあたらぬように、よしずや遮光幕を利用して、調整し、花（季節）を飾ったりしながら心地良く過ごしてもらえよう心がけている。</p>	<p>共用空間は天井が高く、日差しも取り込まれ、明るく広い。夏場など日差しが強い時は用具を用いて加減ができるよう工夫している。食事時間は利用者や職員との会話がはずみ、食後の休憩時間に島唄を口ずさむ利用者もいる。壁には体験学習の生徒との写真が飾られている。それぞれにホールで和やかに過ごしており、居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ベランダ・玄関先の椅子・ソファ等でご利用者が自由にくつろぎ、思い思いに過ごしてもらえるように工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況		次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談し、馴染みの家具や小物等を居室に置いたり、飾ったりして、ご利用者が心地良く過ごしてもらえるように配慮している。</p>	<p>居室の出入口には利用者の名前入りの表札があり、自宅で使い慣れた家具や家族の写真等が持ち込まれ、使い勝手良く配置されている。信仰している宗教の祭壇や家族の位牌を持ち込んで朝・夕手を合わせる等本人が居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ご利用者の見やすい位置にお部屋の表札を設置したり、トイレの表示を大きくしてわかりやすいよう配慮している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない